

うございます

県民表彰 社会福祉功労

本庄 圭子さん

(福島・播磨釜 84)



昭和34年12月から平成11年7月までの39年8か月間を保育士として、平成11年9月から現在まで、ひかりヶ丘保育園の園長として20年以上勤務されています。

特に、園児の歯科保健に力を入れ、平成7年から施設が始めたフッ化物洗口事業を継続して実施。また、平成30年4月には福島町中心市街地への施設移転に合わせて定員を増加し、地域の保育の必要量を確保するなど、地域の乳幼児の健全な保育環境づくりに尽力するとともに、社会福祉の増進に寄与されました。

県民表彰 産業功労(商工)

高橋 博之さん

(今福・北東2 74)



平成16年5月から令和元年10月までの15年6か月、松浦商工会議所の会頭を務められました。在任中は、西九州自動車道の早期事業化に向けて、県北3商工会議所(松浦、江迎、佐々)と連携し、積極的に要望活動を実施。また、観光の推進に尽力され、「第4回全国ほんもの体験フォーラムin長崎」の松浦市開催、「海鮮街道まつり」や「体験型旅行事業」の受け入れ拡大など、会の発展と会員の事業運営の発展等に尽力するとともに地域経済の振興に貢献されました。

令和2年度長崎県防火ポスターコンクール

令和2年度長崎県防火ポスターコンクールが開催され、市内から4人の児童が入賞を果たしました。このコンクールは、防火意識の高揚を図り、火災予防の啓発に活用する目的で、県内の小学4～6年生を対象に毎年実施されていて、今年は200作品の応募がありました。市内の入賞者は次のとおりです。

【最優秀賞】

本吉 愛美さん
(志佐小6年)

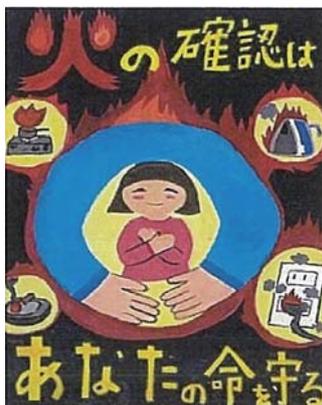
【優秀賞】

森 吉慶さん
(調川小6年)

【佳作】

松坂 丞純さん
(星鹿小5年)

野口 湊さん
(星鹿小5年)



▲【最優秀賞】
本吉愛美さんの作品

読書感想文コンクール 最優秀賞

御厨小学校5年の栗山優花さんが、第49回長崎県読書感想文コンクール小学校高学年の部において最優秀賞を受賞しました。



本コンクールには県内から小学校低学年、中学年、高学年の3部門に3,181点が寄せられました。

栗山さんは、自分と同じ小学5年生の主人公が、兄の姿を見て学び、気持ちの変化を描いた図書「兄ちゃんは戦国武将!」を読み、物語の主人公の性格や境遇を、姉がいる自分と照らし合わせて感想文を作成しました。

栗山さんは、「何度も書き直し、応募した。なかなかもらえない賞と聞いてうれしい」と話してくれました。

とめでおめ賞受

令和2年度ながさき水産業大賞（特別賞）

魅力ある経営体部門（経営強化の部）

株式会社 三陽 松浦営業所



▲表彰を受ける高橋利明副社長（左）
と久保川洋平次長

株式会社三陽松浦営業所（久保川洋平次長）は、アジの水揚げ日本一を誇る松浦魚市場で水揚げされたマアジを使用し、高性能の機器を導入した工場でアジフライを製造。松浦市の「アジフライの聖地」に関連したイベント等へアジフライを供給するとともに、独自の販路を開拓し、松浦産アジフライを広く販売。同社の協力により「アジフライの聖地」が定着し、今後さらなる認知度の向上と地域活性化が期待されることが評価されました。

令和2年度ながさき水産業大賞（特別賞）

魅力ある漁村地域部門

新松浦漁業協同組合青年部



▲表彰状を受け取る川下裕二部長（左）
と岩添信也さん

新松浦漁業協同組合青年部（川下裕二部長）は、磯根資源の減少や赤潮の発生などによる青年部員の危機感をきっかけに、平成25年から藻場保全活動を開始しました。漁場の調査や有害生物の除去、レンガブロックを活用して海藻を増殖させるなど着実に成果を出し、短期間で藻場が大きく回復。市販の安価な材料を用いる手法で汎用性が高く、他地区へ取り組みが普及することで、藻場回復の輪がさらに広がると評価されました。

日本自動車連盟（JAF）会員が選ぶ

イチオシ道の駅グランプリ 長崎県1位

松浦海のふるさと館



道の駅「松浦海のふるさと館」（上田知明支配人）が、「日本自動車連盟（JAF）会員が選ぶイチオシ道の駅グランプリ2020」で長崎県1位に輝きました。

このグランプリは、九州・沖縄でJAF会員優待サービスがある104か所の道の駅の中から、イチオシもしくは行ってみたい道の駅を募集。同駅には149票の投票があり、総合11位、長崎県内11か所の中から1位を獲得しました。

11月12日には、JAF長崎支部の松原啓之事務所長から記念の盾が手渡されました。